

御田小だより

～ みんな元気 ④のしい 御田小 ～

港区立御田小学校 学校便り

令和元年 11月29日 No. 8

発行者 御田小学校長 濱尾敏恵



人権週間によせて ～本校の人権教育～

校長 濱尾 敏恵

「友達は 皆 違うから いいんだよ」 「ゆずりあい こまっている ひとのため」

「いじめの矢 やさしいところで ふきとばせ」 「ありがとう 言えたらみんな いい気持ち」

これは、御田小学校の子供たちが作った「人権標語」です。人権にかかわる授業を行った後、学習のまとめや振り返りとして全校児童が標語を作成しています。作品から、「じぶんも大切、みんなも大切」をテーマに取り組んでいる人権尊重の理念が、子供たちに浸透してきていることを感じます。

さらに本校では、人権教育において、ゲストティーチャーを招いた授業や体験学習を積極的に取り入れています。これらの教育活動は、子供たちの意識や考え、行動を劇的に変えることがあります。

6年生は、「自分の生き方を考えよう」の学習で、アイヌ文化に詳しい方を招いた授業を行いました。まだ20代だろうと思われる若者が、「アイヌの人の数が少なくなっているのだから、私たちが守らないと文化が失われてしまう」と思い、このような普及活動を行っています。」とっていました。アイヌの文化や伝統を伝える者として、誇りをもって生きている姿が、とても輝いて見えました。アイヌ語やアイヌ舞踊に触れる活動も行いました。体験を通し、様々な文化や伝統に対する正しい認識と理解を深め、今後、「これから社会に出ていく自分ができること」について考える学習につなげていきます。

5年生は、「差別や偏見をなくそう」の学習で、ハンセン病回復者の方から体験談をうかがいました。「社会復帰をし、仕事に就いたものの、自分の過去を隠した生活は、毎日が逃亡者のようでした。」という言葉の重み。子供たちは、自分をその状況に重ね置いて真剣な面持ちで話を聞き、正しい知識に基づかない思い込みが偏見や差別につながってしまったことを理解しました。また、「療養所で生活していたとき、私は、自分より重い病状の方の看護をしていて、その方から『ありがとう。』と言われることが、何より嬉しかった。人権を軽んじられることもあった中、自分が役立っていること、自分の存在価値を感じる瞬間だった。」との話が印象的に残りました。本校の重点目標の一つでもある、「感謝」（ありがとう）は、人権教育に欠かすことができない言葉であることを再認識したところで

す。4年生は、視覚障がい者と交流する活動を通して、自分たちができることを考えました。体験談を聞く中で、盲導犬を連れて来た方が来店を拒否されたことを知り、「盲導犬と一緒にお店に入れることを知らせるポスターを作りたい。」と行動に移したグループがありました。実際に地域に出て、自分たちが作成したポスターをお店に掲示してもらるようにお願いしに行きました。この子供発の自主的な活動は、港区教育長、港区長の耳に届くまでになりました。嬉しく思います。

3年国語の教科書には、金子みすずの詩「わたしと小鳥とすずと」が掲載されています。金子みすずの詩はその内容から人権教育の教材に使用されることがよくあります。3年生は、埋もれていた金子みすずの詩を世に広めたという児童文学作家 矢崎節夫さんの話をうかがえる機会をいただきました。矢崎さんは、ご講演の中、繰り返し子供たちに、「みんなは、生まれてきただけで100点満点！」とメッセージを送られ、「みんなが生まれてきたから、みんなのお父さん、お母さんは、お父さん、お母さんになれるのですよ。」と、「自分が存在することの価値」に触れてくださいました。その言葉は、「目の前に子供たちがいるから、先生は、先生になれるのです。」と置換できます。

「いい自分 いやな自分も ぜんぶ自分」 「受け入れる 未来の自分の 第一歩」

これも、御田小学校の子供たちが作った標語です。12月4～10日は、人権週間。自分をまるごと受け入れ、未来に向かって伸びようとしている子供たちを導き、後押しができるよう、教職員も、子供一人ひとり、かけがいのない人間であることを改めて自覚、意識する期間にしていきたいと思ひます。

「開校記念集会」

児童会担当 堀内 潤美

11月2日(土)、御田小学校は南海小学校と統合し、19年目を迎えました。その日に先駆け、1日(金)には、児童会主催の開校記念集会を行いました。今回は、現在の御田小学校の「児童」にスポットを当て、「何月生まれの友達が多いの?」「同じ名前の友達はあるの?」「みんなの好きな芸能人は?」等、知っているようで意外と知らなかった御田小のみんなについて、クイズで大いに盛り上がりました。

来年はいよいよ20周年!子供たちとともに、20周年のお祝いにふさわしい児童集会を計画していきます。

「書き初め会について」

書き初め担当 油 史枝

毎年、新年には、書き初め会を行っています。1~2年生は、硬筆。3~6年生は、毛筆です。特に、3~6年生は、広いスペースでのびのびと文字を書くことができるよう、体育館で学年ごとに行います。

書き初めのねらいは、次の3点です。

- 新年を迎えたことを喜び、新しい年への抱負を文字に込めて書写する。
- これまで学習してきたことを生かし、正しく美しい文字を書こうとする意欲をもつ。
- 展示作品を鑑賞することによって、文字を鑑賞する力を養う。

冬休みの宿題になりますのでご協力よろしくお願ひします。

「人権教育についての取組」

5年担任 竹元 仁美

5年生は、総合的な学習の時間にハンセン病についての学習に取り組んでいます。ハンセン病についてのDVDを視聴したり、ゲストティーチャーとしてハンセン病回復者の方をお招きしてお話を伺ったりしました。当時の体験や気持ちを聞くことで、ハンセン病患者が受けてきた差別や偏見について、より深く学ぶことができました。子供たちは、真剣に話を聞き、たくさんの質問をしていました。「一人の偏見が社会的な差別を生むのはなぜかを考えてほしい。」という思いに触れた子供たち。この機会を生かし、さらに学習を深めていきます。

※「港区手話言語の理解の促進及び障害者の多様な意思疎通手段の利用促進に関する条例」(令和元年12月1日施行)に伴い、本号よりユニバーサルデザインフォントを使用しています。

12月の生活目標

物を大切にしましょう。

日	曜	行事予定
1	㊤	
2	月	[全]委員会代表委員会
3	火	
4	水	区教育研究会 4時間授業
5	木	[GT]しょうゆについて(3年) 工場見学(3年)
6	金	
7	土	[ス]土曜授業日 2時間授業 [GT]国際交流(4年) [GT]子ども・大人と一緒に学ぶ子どもの権利(5年) 親子レク(2年) 保護者会 遊び場開放(PM)
8	㊤	
9	月	[全]学校音楽芸術教室 クラブ活動
10	火	安全指導
11	水	[読]社会科見学(5年) [GT]オリンピック・パラリンピック学習(6年)
12	木	[体]
13	金	避難訓練 4時間授業 三田アカデミー
14	㊤	
15	㊤	
16	月	[全]音楽鑑賞教室(5年)
17	火	[GT]Enjoy Music(4年)
18	水	[ス][GT]おなか元気教室(1年)
19	木	[音][GT]朗読会(スイミー)
20	金	たてわり班活動 [GT]写真ワークショップ(4年)
21	㊤	遊び場開放(PM)
22	㊤	
23	月	[全]みたルーム終
24	火	
25	水	終業式
26	木	冬季休業日始(1月7日まで)
27	金	
28	㊤	御田小家庭読書の日
29	㊤	
30	月	
31	火	

[全]全校朝会 [ス]スピーチ活動 [集]集会

[体]体育朝会 [音]音楽朝会

[読]リーディングツリー [GT]ゲストティーチャー

【金岡 水帆子カウンセラー来校日】

2日(月)、9日(月)、16日(月)

【八木澤 美奈子カウンセラー来校日】

3日(火)、10日(火)